

## 第 1 回 館山市総合計画審議会 会議記録

- 1 日時 平成28年7月29日（金） 13時30分～15時50分
- 2 場所 館山市コミュニティセンター 第1集会室
- 3 出席者

| 委員構成  | 氏名    | 役職                   |
|-------|-------|----------------------|
| 市議会議員 | 石井 敏宏 | 市議会議員                |
|       | 室 厚美  | 市議会議員                |
|       | 望月 昇  | 市議会議員                |
|       | 森 正一  | 市議会議員                |
| 産業関係者 | 杉井 繁樹 | 館山商工会議所 推薦           |
|       | 小金 晴男 | 一般社団法人 館山市観光協会 推薦    |
|       | 原 徹   | 公益社団法人 安房医師会 推薦      |
|       | 須田 敏男 | 館山市地域公共交通会議 推薦       |
|       | 川名 展弘 | 一般社団法人 館山青年会議所 推薦    |
| 行政関係者 | 渡邊 俊雄 | 千葉県安房振興事務所 推薦        |
| 教育関係者 | 半澤美緒子 | 館山市教育委員会 推薦          |
|       | 澤田 茂一 | 国立館山海上技術学校 推薦        |
| 金融関係者 | 西村 一郎 | 館山市金融団（二十日会） 推薦      |
| 労働関係者 | 羽山 敏雄 | 千葉県社会保険労務士会木更津支部 推薦  |
|       | 宮内 清則 | 館山公共職業安定所 推薦         |
| 報道関係者 | 鈴木 勉  | 館山市記者クラブ 推薦          |
| 知識経験者 | 石井 久治 | 館山市町内会連合協議会 推薦       |
|       | 鈴木 正弘 | 社会福祉法人 館山市社会福祉協議会 推薦 |
|       | 忍足 伸一 | 館山市体育協会 推薦           |
|       | 田中 真由 | 公募委員                 |

（欠席者）高橋實委員，鈴木久雄委員，吉田南子委員，押元昇委員，溝口かおり委員

### 4 議題

- （1）会長及び副会長の選任について

- (2) 『第3期館山市基本計画』に係る政策評価について
- (3) 地方創生先行型事業の効果検証について
- (4) 『館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の見直しについて
- (5) その他

## 5 会議の経過

- (1) 開会
- (2) 市長挨拶

金丸市長：ご多用の中、本審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、本審議会の委員就任についてご快諾いただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

加えて、日頃から市政発展のためのご尽力を賜っていることに対しましても、厚くお礼を申し上げます。

『第4次館山市総合計画』及び『館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の策定にあたりましては、平成26年度から27年度の2年間にわたり、計9回の会議を開催しまして、たいへん多くのご意見・ご提案をいただき、完成することができました。

今年度から、計画の着実な実行に努めていきますので、今後ともご協力をいただきたいと思っております。

本日の議題は主に

- ・『第3期館山市基本計画』に係る政策評価
  - ・地方創生先行型事業の効果検証
  - ・『館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の見直し
- となっております。

『総合計画』・『総合戦略』ともに、「成果指標」に基づくPDCA（計画・実行・評価・改善）の徹底を重視し、より効果的な事業推進を図っていくため、委員の皆様方には、その進捗状況の確認・効果検証をお願いしたいと考えています。

また、これまでは、『総合計画』策定時のみの2年間をお願いしていましたが、市として事業の進行管理を重視しまして、審議会の継続をお願いしようとするものであります。

7月25日から新たな任期となり、メンバーも5名増え、25名となりました。委員の皆様方には、多くの資料やデータを読んでいただくなど、ご負担をおかけしますが、日頃から様々な分野で活躍されている皆様の、豊富な経験と見識に基づき、どうぞ活発なご審議をいただきますようお願いいたします。

結びに、各界各層の代表であります委員の皆様方には、館山市行政へのより一層のご協力をお願い申し上げまして、挨拶といたします。

本日は、誠にありがとうございます。

- (3) 委嘱状の交付

(4) 委員の紹介

(5) 議事

①会長及び副会長の選任について

会長：杉井繁樹委員

副会長：半澤美緒子委員

②『第3期館山市基本計画』に係る政策評価について

(事務局より、政策評価概要及び達成度の時点修正について説明)

石井(敏)委員：政策評価委員会のメンバー構成についてお伺いしたいと思います。

事務局：「館山市政策評価委員会設置要綱」に定められておまして、委員長の市長，副委員長に副市長，委員に教育長，総合政策部長，総務部長，健康福祉部長，経済観光部長，建設環境部長，教育委員会次長となっています。

杉井会長：他に意見がなければ，次の議事に進みたいと思いますが，よろしいでしょうか。

全員：異議なし

③地方創生先行型事業の効果検証について

(事務局より効果検証の方法について説明)

<No.1 館山市総合戦略策定事業>

(事務局より説明)

杉井会長：本事業は，効果検証が不要となっています。

<No.2 公衆無線LAN普及促進事業>

(事務局より説明)

杉井会長：事務局案のとおり，KPIに対する評価は「ある程度有効」，今後の方針は「見直し(改善)」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

<No.3 インバウンド推進事業>

(事務局より説明)

田中委員：インバウンド推進の対象が台湾であった理由について。台湾であることには賛成なのですが，経緯をお伺いしたいと思います。

上野部長：館山市観光協会と話し合いをしまして，非常に親日家の多い台湾をターゲットにして，協力を推し進めていこうということになりました。

金丸市長：5年前に東日本大震災が起こった際に，台湾から義援金等をいただきました。私はその後に，トライアスロンのアジア選手権大会の開催に向けたセールスで台湾へ行ってきました。

その時，アジアトライアスロン連合の理事の方たちは，「放射能の関係はどうだ」ということで，国を代表する選手を日本に送ることを危惧されていましたが，台湾の理事の一人が，「ここで日本を救おう，館山へ行こう」という熱いメッセージを言ってくれまして，これに全員が賛同されました。

私は台湾に対して非常に感激いたしまして、インバウンド先を考えたときに、まずはアジア、その中でも台湾から始めたらどうかということで、観光協会長を含めて同意をいただいて、進めてきたところです。

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「相当程度有効」、今後の方針は「継続」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.4 体験観光メニューブラッシュアップ事業>

(事務局より説明)

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「相当程度有効」、今後の方針は「継続」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.5 恋人の聖地プロジェクト事業>

(事務局より説明)

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「非常に有効」、今後の方針は「継続」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.6 沖ノ島環境改善事業>

(事務局より説明)

望月委員：マナー啓発指導員の配置等がありますが、バイオトイレにもかなりの予算が費やされていると思います。どうして記入されていないのでしょうか。

事務局：今回は、地方創生先行型交付金を活用した事業の効果検証になりますので、交付金を活用していないバイオトイレについては、この中に含めておりません。

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「相当程度有効」、今後の方針は「継続」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.7 「“渚の駅” たてやま」施設機能強化事業>

(事務局より説明)

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「非常に有効」、今後の方針は「追加等、更に発展」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.8 自転車競技環境整備事業>

(事務局より説明)

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「相当程度有効」、今後の方針は「終了」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.9 雇用促進事業、移住・定住促進事業>

(事務局より説明)

室委員：この事業だけでありませんが、今後この計画を継続していく中で、K P Iの目標

値は見直していくのでしょうか。移住促進ということで、目標値を高めて、高い目標をもってやるのも良いかと思いましたが。

事務局：今回のK P Iの数値は、総合戦略策定前の26年度末に設定したものでありまして、当初この事業期間が1年ということで、1年限りのK P Iということで設定した内容になります。

その後、総合戦略を策定した中で、それぞれの施策に対して31年度末のK P Iを設定しており、現在はその達成に向けて取り組んでいるところになります。

金丸市長：「目標設定はなるべく高く」というのがご発言の趣旨だと思いますが、あまりに高過ぎて実行できないというよりは、必ず実行するという中で、さらに高くという思いをもってやっていきたいと考えています。

ですので、目標設定は徐々に変えて、高くしていきたいと考えています。

森委員：移住の目標値はありますが、定着率も大事だと思っています。定着率に対する目標値はありますか。

事務局：定着率の目標値は設定していません。

森委員：移住してきた方が出て行ってしまうというケースもあると思いますので、定着率に関して目標設定しなくても良いのですが、推移をみるとかの手段はとっていただきたいと思っています。

金丸市長：目標値はありませんが、定着率は非常に高く、90%以上はあると思います。どうしようもない、やむを得ない事情があつて帰られる方もいますが、ほとんどいないという状況です。

また、定着率が高い理由としては、移住者へのフォローをずっと続けていることが大きいと思っています。

田中委員：この目標に対する実績値は、住民票が異動されていることが前提でしょうか。何をもって移住したという基準としているのでしょうか。

事務局：(N P O法人)おせっ会で対応された方を対象としています。

田中委員：移住者へのフォローは、おせっ会がしているということによろしいですか。

事務局：そのとおりです。

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「非常に有効」、今後の方針は「追加等、更に発展」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.10 食のまちづくり推進事業>

(事務局より説明)

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「相当程度有効」、今後の方針は「追加等、更に発展」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.11 教育環境I C T化事業>

(事務局より説明)

森委員：今後のことになりますが、いつ頃までに電子黒板の整備を終わらせる予定で考え

ていますか。

出山教育長：1学級に1台を目標としていますが、いつまでという期限は決まっていません。できるだけ、毎年毎年増やしていきたいと思います。各学校と面接した中では、どの学校からも電子黒板の要望は高まっているという状況です。

森委員：各生徒用のタブレット端末の利用は考えていますか。

出山教育長：まずは電子黒板を優先していきたいと考えています。タブレット端末はその次の段階になると思いますが、すでにタブレット端末を使用して授業を行っている学校もあります。

電子黒板をベースにしながら、学校の状況、教員の実情に応じて、タブレット端末、デジタル教科書を導入していきたいと考えています。

室委員：電子黒板に関してどこまで力を入れるかという意見は、賛否分かれています、ICT支援員の配置に向けた取組はどのように考えていますか。

出山教育長：今年度は、各学校にICT支援員は配置されていませんが、館山市教育問題研究会において、電子黒板の活用について研究を重ねています。

そして、そこで行なったものは、発表会を開いて各学校に広めています。

実際には、年度末や夏休みを利用して、ICTが苦手な先生に参加いただき、できるだけ底上げをしたいと考えています。ICT支援については、そのような形で現在広げているところです。

原委員：医療の現場においても、ICTや電子化は導入した後、非常に経費が掛かってきますし、5年経つと新しいものも出てきます。メンテナンスと維持がすごく大変になってくるので、実際にやっていった中で検証はしていけないと思います。

出山教育長：まったくそのとおりだと思います。ICTによる授業がすべてという考えではなくて、委員からのご意見にもあるように、館山市ならではの自然の良さを活用した授業も当然であると思いますし、最終的に子どもたちに学力がつく、授業に魅力を感じる手段として使えれば良いと考えています。

杉井会長：事務局案のとおり、KPIに対する評価は「相当程度有効」、今後の方針は「追加等、更に発展」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.12 防災用品備蓄事業>

(事務局より説明)

杉井会長：事務局案のとおり、KPIに対する評価は「非常に有効」、今後の方針は「追加等、更に発展」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

#### <No.13 子育て支援事業>

(事務局より説明)

田中委員：ファミリーサポートセンターの利用券が届きましたが、利用しない場合、その分のお金はどのような取扱いとなるのでしょうか。国から補助金がおりてきて、

使い切るといったものなのでしょうか。

四ノ宮次長：利用されないものについては、未執行という形になります。国からの補助金は、最終的に実績報告を行ないまして、実際の執行に応じた補助をいただくということになります。

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「相当程度有効」、今後の方針は「追加等、更に発展」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

<No.1 4 児童遊園環境整備事業>

(事務局より説明)

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「相当程度有効」、今後の方針は「継続」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

<No.1 5 介護職員資格取得費助成金>

(事務局より説明)

原委員：実際に資格を取得しても、それが継続できるかどうか。やっつけられない、辞めてしまうという現状があります。

医療・介護については、生産性のある職業ではないですし、医療費には非常にお金が掛かっています。それをどのように捻出するか、どう減らしていくのかといった議論をしていかないといけないと思っています。

杉井会長：利用者が1名ということで随分少ない気がしますが、どのような理由が考えられますか。

熊井部長：理由の一つとして、周知が不足していたのではないかという反省があります。あとは、現場のほうで独自に、自らが受講された方がいらっしゃるので、そこがしっかりマッチングしていなかったというところもあるかと思います。

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「ある程度有効」、今後の方針は「見直し（改善）」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

<No.1 6 サイクルツーリズム推進実証実験委託事業>

(事務局より説明)

田中委員：今「ポケモンGO」が流行っていますが、ポケストップやジムの場所をPRするとか、旬なのでやってみるのはどうでしょうか。

金丸市長：今、検討し始めたところです。

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「非常に有効」、今後の方針は「継続」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

<No.1 7 農産物等流通促進実証実験委託事業>

(事務局より説明)

杉井会長：事務局案のとおり、K P Iに対する評価は「ある程度有効」、今後の方針は「見

直し（改善）」でよろしいでしょうか。

全員：異議なし

④『館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の見直しについて

（事務局より説明）

半澤委員：今回、景観計画策定事業を追加した理由、具体的な内容についてお伺いしたいと思います。

久保田部長：従来は景観指導要綱により行なってきましたが、地方創生交付金を活用した中で、将来的に条例化を目指していきたいと考え、追加いたしました。

具体的な内容は、今後協議して決めていきたいと思っています。

杉井会長：他に質疑が無ければ、事務局案のとおりと改訂してよろしいでしょうか。

全員：異議なし

⑤その他

- ・地方創生加速化交付金事業について

（事務局より説明）

望月委員：加速化交付金事業の①「“海”の魅力アップによる賑わい創出事業」の取組内容に沖ノ島警備業務委託、駐車場整備工事とありますが、夏だけの観光地ということだけでなく、年間を通じた観光地にしていくといった構想による事業ということでしょうか。

上野部長：この交付金で充てる事業は夏場の内容になりますが、沖ノ島については、体験事業を含め、年間を通じて多くのお客様に来ていただけるような取組に仕上げたいと考えています。

- ・RESAS（リーサス）の活用事例について

（事務局より説明）

- ・各委員からの感想・意見について

杉井会長：それでは、今回新しく委員になられた方に、本日の会議の感想やご意見をお伺いしたいと思います。

室委員：7～8月はとくに観光シーズンで、多くの方に来ていただきたいと思っていますので、いろいろとPRしています。

市のHP等には、イベント一覧のページがありますが、見たい内容になかなかたどり着くことができません。いろいろな部署にまたがると思いますが、情報を集約したイベントカレンダーのようなページを、市外の方にも見やすいように作っていただきたいと思っています。

川名委員：我々、青年の代表としては、今後もこのような機会を作っていただければ、どんどん協力させていただきたいと思っています。

効果検証では魅力的な事業が多かったですが、インバウンド事業については、もっとターゲットを絞ったら面白いかと思っています。

台湾の方は、親日でご縁があるかと思いますが、日本中で台湾の方に来てほしいと思っているのではないかと思います。

限られた予算、限られて人員の中でやる場合には、多くの人を対象とすると、分散化してしまう可能性がありますので、あえて日本のことを知らない方に、館山だけをピンポイントで知って来ていただくとか、国内でも、館山のことを全然知らない方に、特定の場所だけを思い切ってPRするといった方法も良いかと思います。

渡邊委員：インバウンド事業は、各市と競合してしまうことがあるかと思いますが。

「ポケモンGO」の話が出ましたが、インスタグラムやSNSでより多くの情報が発信できると良いと思います。

西村委員：金融機関としても地方創生は大きなテーマとなっています。何ができるかというと、金融面での下支えということになりますが、弊行でも「地方創生融資」を作りまして、民間の方が実施するうえでの下支えをしていこうという体制が整いつつあります。

また、「しごとの創生」という部分におきましては、以前より創業資金の融資がしやすくなりつつありますので、何かお手伝いができるのではないかと考えています。

羽山委員：今感じているのは、地元の企業において、育児休業制度の利用があまり普及していないということです。

このことについて、行政が事業主の方に働きかけて進めていくのは難しい部分もあると思いますので、橋渡しの役割ができればと思っています。

また、総合戦略については、どの自治体も企業立地や新規雇用促進に関する条例を持っていて、例えば、事業所の増設・新設に伴う固定資産税相当額の補助等があることが最近わかってきました。

社会保険労務士の直接の業務ではありませんが、実際に企業から増設をしたいといったお話を時々いただくことがあります。

市でももう少し制度のPRをしていただければ、利用できる企業もあろうかと思えますし、せっかくこのような制度がありますので、私どももPRに協力させていただき、起業支援等にも協力できたらと思っています。

宮内委員：8年ぶりに館山に戻ってきましたが、電車の本数が随分少なくなったと感じています。市長がJRに申し入れをしている新聞記事を拝見しましたが、電車の本数が増えるとありがたいと思います。

昨日、館山市が中心となり、安房3市1町とハローワーク館山との合同で「ジョブサポート in たてやま」を開催させていただきました。昨年度と比べると、参加企業も増えており、参加者も56名参加していただきました。採用についてはこれからの報告ですが、10月に新宿でまた開催することが決まりまして、引き続きご協力をいただきたいと思います。

鈴木委員：本日審議した事業の9割以上は、房日新聞で報道していることだろうと思いま

すが、委員として話を聞いていく中で、紙面ではわからない部分もあるということを感じました。

また、本来なら新しいものを企画して、総合計画を作っていくほうが盛り上がるのかとも思いますが、こういう反省を踏まえながら、新しい計画ができていくということも改めて感じました。

今回はいろいろと議事も多かったですが、1回ぐらいはテーマを2～3に絞って、ざっくばらんに意見を出し合うような場面があっても良いかと思います。

以 上